

活動成果報告会で講演する先進市の取組

四日市市

○ 取組の特徴

高齢者の閉じこもり防止などのため、「孤立防止拠点」を設置し、この取組に連動する形で、地域住民・自治体が主体となって日常生活支援サービスが提供されている。

1 孤立防止拠点の設置

平成24年4月より大型団地の中心にある商店街の空き店舗を活用して、以下の機能を併せ持った「孤立防止拠点」を社会福祉法人が運営

- ①総合相談機能（生活相談窓口）
- ②食の確保機能（コミュニティレストラン）
- ③地域住民の集いの場（地域のサークル活動、会議、多様な勉強会）

2 会員制組織の設置

地域住民・自治会が主体となって地域完結型の日常生活支援を目的とした会員制組織「ライフサポート三重西」を発足

3 日常生活支援サービスの提供

平成25年3月より65歳以上の高齢者等向けに、「ライフサポート三重西」による安価な日常生活支援サービスを提供
（サービスの内容）
ゴミだし、配食、自宅の清掃、屋外作業、外出支援、買い物支援等

（参考）

・人口

312,477人（平成28年1月1日現在）

・高齢者の人口及び割合

65歳以上 76,807人（24.6%）

75歳以上 35,606人（11.4%）

・要介護（要支援）認定者数及び認定率

認定者数 12,509人

（平成27年3月末現在）（認定者には第2号被保険者を含む）

認定率 16.5%（要介護（要支援）認定者数／第1号被保険者数）

武蔵野市

○ 取組の特徴

平成12年3月に介護保険条例と同時に「高齢者福祉総合条例」を制定し、健康づくりと介護予防・移動支援の推進、認知症高齢者施策の推進、保健・医療・福祉の連携強化に重点を置いて取り組んでいる。

1 健康づくりと介護予防・移動支援の推進

- ①風呂で「不老（ふろう）体操」
週1回、営業時間前の公衆浴場の脱衣所で健康体操を行ったあと入浴
- ②テンミリオンハウス
市の施設や民家などを活用して、NPOや住民組織等が市から年間1000万円（テンミリオン）を上限とした補助金によって、ミニデイサービス等を実施
- ③レモンキャブ
外出が困難な高齢者や障害者を持つ方のために、福祉型軽自動車を使用して、運転手は地域の商店主を中心とした有償ボランティアにより、移送サービスを実施

2 認知症高齢者施策の推進

- ①認知症見守り支援ヘルパー派遣事業
介護保険サービスでは対象にならない、見守りや話し相手、散歩の付添いなどを専門の研修を受けた訪問介護員が実施
- ②三鷹・武蔵野認知症連携（もの忘れ相談シート）の活用
武蔵野市と三鷹市の行政、医師会、中核病院等が連携して、かかりつけ医から専門医療機関への迅速かつ正確な連携のため、「もの忘れ相談シート」を作成・使用

3 保健・医療・福祉の連携強化

「地域リハビリテーション」の理念に基づく重層的な地域連携の仕組み
市の総合計画の重点施策として、「地域リハビリテーションの推進」を掲げ、その理念に基づく地域連携の重層的な仕組みを構築

（参考）

・人口

143,262人（平成28年1月1日現在）

・高齢者の人口及び割合

65歳以上 31,251人（21.8%）

75歳以上 15,858人（11.1%）

・要介護（要支援）認定者数及び認定率

認定者数 6,285人

（平成27年3月末現在）（認定者には第2号被保険者を含む）

認定率 20.3%（要介護（要支援）認定者数／第1号被保険者数）